



生涯学習 マナビイ通信



一緒に作りましょう！着せる布地によって個性豊かな世界に一つだけの作品に仕上がります。

”愛らしさが魅力の木目込み人形“

木目込み人形とは、桐のおがくずと糊を圧縮して型抜きしたボデイに細い溝を掘り、へらでその溝に布地をはさみこんで着せ込む人形です。

埼玉県さいたま市岩槻区が発祥と言われ、三百年以上の歴史を誇ります。

制作工程

市販されている人形の土台（ボデイ）をサンドペーパーで磨いたり、新たに溝を掘ったり目の位置に穴を開け補正します。次に米粉と糊を混ぜ合わせて土台の溝に塗り、布地をへらで極め込むんで作ります。

美しく仕上げるコツは色の濃い布地から薄い布地へと着せ込んでいくことです。

プロフィール

出身は閉上です。

閉上小学校、中学校を卒業しました。その後増田西地区へ移り、今に至ります。生まれも育ちも名取です。

自宅で教室を営むかたわら、増田西公民館で月二回（木曜日）活動している「木目込み愛好会」の講師も努めています。

「木目込み人形」マナビイ宅配便市民講

いりまがわ しんこ
人間川 信子 先生



木目込み人形との出会い

四男一女の五人兄弟で育ちましたが、雛人形を買ってもらったことはありませんでした。

三十代半ばの時に「お雛様を作ってみませんか」と広報誌に掲載されていた記事に目ざまり、自分のためにお雛様を作ってみようと講習会に参加してみました。

一日だけの講習会では完成させることができず教室を開いている手芸店に通いました。

お雛様が完成すると、羽子板も作ってみました。お雛様が完成するのと、羽子板も作ってみました。育児もあるし、仕事もしているしと悩みましたが、しっかりと基礎を学ぶことにしました。その時には四十年も木目込み人形に携わることになるとは考えもしませんでした。



作品作りは実物を見るのが 大切です

東京の師範会に在籍し展示会に出展していました。その時、他の方々の作品を見ては、着せ方や着物選び、フォルムなどを勉強していました。

木目込み人形は、着せ込む布地一つで全く印象が異なります。ちりめんはあでやかな柄が多く、色も綺麗なので華やかな作品となります。また、絹を用いて制作するとその特徴である優雅な光沢が、落ち着いた雰囲気をかます作品となります。ちりめんを買いに丹後（京都府）まで何度か足を運びました。

知人からつるし雛の制作を勧められた時も伊豆へ「ひなのつるし飾りまつり」を見に行きました。実物を目にすると制作工程や完成品がイメージしやすいです。今でも作品に触れる機会は意識しています。



愛好会での活動の様子

年に一度、全員で干支をモチーフに木目込み人形を作ります。

幅5cm、高さ7cm程度の大きさの人形を、一人一体ずつ配り、制作の参考にしてみたいと思います。思い通りに布地を選んでもらうことで個性豊かな作品が出来上がっています。

木目込み人形の良い所は、米粉と市販の糊を混ぜ合わせて着付けるので、柄に飽きたら着せ替えることができることです。土台を無駄にせず繰り返し生まれ変わらせることができるので、リサイクルにもつながっています。

木目込み人形以外にも、羽子板やつるし雛を制作する生徒さんもいます。

丁寧に手掛けた作品は、公民館まつりに出展し訪れた多くの方々に鑑賞いただいています。



手慣れてくると3時間程度で作れます。

※「木目込み愛好会」の活動に興味・関心を持たれた方は増田西公民館へお問い合わせください。
(☎022-384-0055)

生徒さんの声

本田 留利子 さん
公民館まつりで展示されていた先生の作品を見て感銘を受けました。質問したところ、丁寧に応じて下さり先生へ憧れて入会しました。二十年程前に手掛けたままにしていた木目込み人形を完成させることが出来ました。アドバイスがとても上手な先生です。

鹿又 清子 さん
仙南地区で盛えているつるし雛を作りたくて会員の方に紹介してもらい入会しました。色々な作品を作れて楽しんでいます。つるし雛も4作品仕上げました。完成まで先生が丁寧に指導して下さいます。つるし雛は一生物の宝ですね。

相澤 明子 さん
会員同士、和気あいあいとおしゃべりしながら作品づくりを楽しんでいます。先生の人柄に惹かれ尊敬しつつも遠慮なく言いたいことを言い合える関係が築かれています。道具類は自分で用意しますが、綺麗な柄の布地（着物）は先生が無償で提供して下さいます。ありがたいことです。

人間川先生の講座申込を希望する人は、市HPに掲載の申込書を提出または生涯学習課に電話・メールでお問い合わせください。

〒981-1224 名取市増田柳田 570-2 仙台法務局名取出張所 2階 生涯学習課
☎022-724-7173 Mail:syogaku@city.natori.miyagi.jp



オンライン申込フォーム